

県高P連広報

発行所
新潟県高等学校
PTA連合会
新潟市中央区新光町10-3
技術士センタービルII-701
TEL (025) 384-8244
FAX (025) 384-8288
印刷所
㈱小林印刷所



対 応 力

新潟県高等学校PTA連合会

副会長 永井 智 則

(高田商業高等学校PTA会長)

立春とは名ばかりで、まだまだ寒さが続く時期ですが、皆様お変わりないでしょうか。日頃より新潟県高等学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、二〇二五年度を振り返りますと備蓄米を求めてスーパーに長蛇の列ができた事思い出されます。令和のこの時代に！しかも米どころの新潟でもこのような事態が発生するなど、誰が予想できたでしょうか。

上越地方では、記録的な少雨により長期に渡って節水の協力が必要な事態となりましたが、そうかと思えば激しい大雨に見舞われて道路の冠水や床上浸水など、日常生活に大きな打撃を受けました。

また、記憶に新しいところでは熊が人里に降りてきて人間や商業施設を襲うなどの被害がたくさん報道されました。これらの異常気象に端を発する不測の事態が発生しやすい世の中で、私たち保護者は何を考え、子どもたちを導いていけば良いのでしょうか。例えば米不足に

なった際に政府は高騰する米価格への対策として備蓄米の放出をしましたが、これをきっかけに私たちは流通の仕組みを知ったり、日本の農業に対する問題点について考えたりと逆境を逆手に取り、成長の糧としました。落ち着いて状況を見た上で解決策を立案する「思考力」、迅速かつ的確に動く「行動力」、そして冷静さを失わず柔軟な思考で前向きに取り組む「精神力」。それらの『対応力』を子どもたちに見せていける大人でありたいものです。

一方、暗いニュースだけでなく良い話もありました。新潟市出身の中井亜美選手がフィギュアGPファイナルで2位を獲得し、ミラノ・コルティナ冬季五輪の日本代表に選ばれました。私たちの子どもと同年代の生徒の活躍はとても明るい希望となりますよね。

中井選手のように大きく飛躍できるよう、私たち『対応力』に磨きをかけて今年も一年頑張っていきたいと思います。

言葉と向き合い、 掴んだもの

新潟商業高校 保護者

ウダルチキ清田エライネ



私の娘が弁論大会という大きな舞台に挑戦する姿を見守る中で、母である私は「自分の言葉で伝えること」の重みと尊さを、改めて実感しました。娘はブラジル国籍を持ち、幼い頃から日本で育ってきました。自分の考えを深く見つめ、それを日本語の言葉として紡ぎ出し、大勢の前で発表することは、決して容易なことではなかったと思います。準備の過程では表現に悩み、涙を流すこともありましたが、娘は自分自身と向き合

親の心子知らず、 子の心親知らず

海洋高校相撲部 保護者

山本 房江

二〇二五年全国高校総合体育大会（インターハイ）相撲は、鳥取市ヤマタススポーツパーク鳥取県民体育館で行われました。新潟県立海洋高等学校相撲部の生徒は、親元を離れ一年生の時から寮生活をしています。そのため、このような遠方の大会があれば、我が子の成長を見にどこへでも飛んで行きます。また、相撲をしている時間が最も成長を感じられるので、両手を合わせ祈りながら、一瞬も見逃すことなく応援します。

大会では個人戦、団体戦が行われ、子供達が自分を鼓舞し、仲間と団結

い、最後まで挑戦を続けました。その姿は、親として何より誇らしいものでした。こうした努力が実を結び、七月に開催された「かがわ総文祭2025」の弁論部門において、優秀賞（全国第3位）をいただくことができました。結果以上に、弁論を通して多くの人の思いに触れ、自らの視野を広げていった過程が、娘にとって大きな財産になったと感じています。母として、自分の想いを言葉にし、表現する力を身につけた娘の成長を、これからも温かく見守っていきたいと思います。ご指導くださった先生方、そして支えてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。



した様子が見られ、大会が終っても興奮がおさまらなかったのを今でも覚えています。このような大きな大会へ出場できるよう、毎日の稽古、日々の生活を御指導下さっている監督を始めとして、皆様方には心より感謝申し上げます。

息子には海洋高校での学びを活かし、自分の決めた事を最後まで諦める事なく続けて欲しいと願っています。また、海洋高校相撲部の今後の活躍と発展をお祈り申し上げます。

地区研修会

新潟地区

新潟江南高校

PTA会長 齋藤 愛

十一月十九日(水)に新潟東映ホテルにて地区指導者研修会を開催し、十四校約四十名の方から参加いただきました。まず、県高P連会長の古川憲様からご挨拶と、県高P連の活動状況、北信越及び全国大会の報告をいただきました。

研修会では、県教育庁生徒指導課いじめ対策室指導主事の中村香央里様から、いじめの現状と課題について講演いただきました。いじめ問題の解決に向けては学校全体で問題を共有し対応しているとのことでしたが、高校生であっても学校だけではなく保護者の関わりも大切だと考える機会になりました。



新発田・村上地区

阿賀野高校

PTA会長 佐藤 明子

十一月十七日(月)、胎内市産業文化会館にて、新発田・村上地区PTA指導者研修会を開催いたしました。当日は、三十九名の方々のご参加をいただきました。はじめに県高P連の遠藤和人副会長から活動報告をいただき、次に下越北地区

続いて、(株)トラストコミュニケーション代表取締役社長の渡辺喜則様から、「変化を恐れない実行力」と題し、新潟で事業を立ち上げられた経験とその思いについて講演をいただきました。子どもが失敗を繰り返しながらも前に進んでいけるように、また、家庭と学校が連携して子どもが自分で進んでいけるように、やる気を持った子どもを育てることが大切だと、感じさせられました。

ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

高P連の書面審議を行いました。その後、漫画エッセイストでコミュニケーションクリエーターのちやい文々様を講師としてお迎えし、「見守る勇氣、信じる力」思春期の挑戦を支える親の役割」と題してご講演をいただきました。ご講演では、「毎日のキラキラを言語化する」、「できなかった四十%ではなく、できている六十%を認める」など、親の役割について、わかりやすくお話ししていただきました。

その後、県教育庁生徒指導課支援・相談班副参事・指導主事の星野勝紀様から、「いじめの現状と課題」と題してご講話をいただき、「学校の『いじめ』対応」などについて解説していただきました。結びに、開催にあたりご協力をいただいた各学校の関係者の皆様方に心から感謝を申し上げます。



巻地区

分水高校

PTA会長 平原あい子

巻地区高等学校PTA研修会は十一月二十一日(金)、新潟市巻ふれあい福祉センターにて開催されました。当日は、四校から約三十名の方々にご参加いただきました。

はじめに県高等学校PTA連合会の今年度の活動報告と次年度の大会等の概要について説明していただきました。次に県教育庁生徒指導課副参事指導主事の星野勝紀様より「いじめの現状と課題」と題してご講演をいただきました。コロナ禍で減少したいじめの認知件数は再び増加していること、いじめの定義について学校でのいじめの対応や家庭での子供との接し方をお話ししていただきました。その後、各



新津地区

新津南高校

PTA会長 廣瀬 結

十一月七日(金)、新津地域交流センターにおいて、三十三名の方々に参加いただき開催しました。

県高P連の活動報告の後、県教育庁生徒指導課不登校対策班副参事指導主事笠原崇様より「いじめの現状と課題」について、いじめの定義のご説明や学校と家庭の

の後、各校の活動状況の報告がありました。

後半は、i e スタジオ代表水科江利子様より「自分に安心できる心と体と生き方のセルフケア」と題してご講演いただきました。自分自身を好きになることで心身が整うこと、整う方法とその効果について水科様の経験を通してお話しいただき、とても心温まるご講演でした。各校のご協力のもと、充実した研修会を開催できたことを心より感謝申し上げます。



連携の重要性、また自殺防止のため、子どもの変化の捉え方や声かけの例などについてお話いただきました。続いてコミュニケーションクリエーター漫画エッセイストのちやい文々様より「見守る勇氣、信じる力」思春期の挑戦を支える親の役割」と題して、ご講演いただきました。ちやい様の温かいお言葉と豊かなご経験に基づいたお話は、参加者の心に深く響き、子どもたちを信じて見守ることの大切さを改めて感じるとともに日々の関わり方を見つめ直す貴重な機会となりました。教育懇談会ではちやい様を囲み歓談するなど、貴重な情報交換や交流の場となりました。

最後に、ご協力いただきました各校の皆様のおかげにより有意義な研修会となりましたことに感謝申し上げます。

長岡地区 長岡工業高校

PTA会長 角屋 洋

十一月二十一日（金）、アトリウム長岡にて、四十二名の方々から参加いただき長岡地区PTA指導者研修会を開催いたしました。

はじめに県高P連副会長、長岡高校親師会長の中山良二様からご挨拶と全国高P連大会のご報告をいただきました。

続いて、生徒指導課はじめ対策室指導主事村香央里様から「いじめの現状と課題」と題してご講話をいただきました。いじめの定義、学校でのいじめ対応、SNSにまつわるトラブル、及び家庭での対策方法等のご説明をいただきました。後半は有限会社イチゼン石油代表取締役社長長藤井芳様より「日本一の長岡花

火！その歴史と経緯」と題してご講演をいただきました。長岡花火誕生について、裏話も交えながらお話いただきました。また、花火に込められた平和への想いについても述べられ、現代の若者へ引き継がれている長岡花火のアイデンティティーを改めて確認することができました。



教育懇談会では大変有意義な情報交換を行うことができました。ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

魚沼地区 小出高校

PTA会長 坂本 淳



十一月七日（金）、魚沼市ボランティアセンターにて魚沼地区高等学校PTA研修会を開催しました。

冒頭、県高P連理事で小千谷高等学校PTA会長宮内正行様より今年度の活動報告をいただきました。続いて県教育庁生徒指導課はじめ対策室長真貝康広様から「いじめの現状と課題」についてご講話をいただきました。研究協議では小千谷西高等学校、六日町高等学校、松代高等学校からPTA活動の実践発表があり、各校の取組を共有しました。後半は上越教育大学大学院准教授田中圭介様による「心配と心の健康」の講演がありました。罰則や叱責より肯定的行動を増やす支援法「PBS」について学び、子どもへの関わり方を考える貴重な機会となりました。研修後の教育懇談会では各校と親睦を深め、率直な意見交換ができました。皆様のご協力により充実した研修会となりましたことに心より感謝申し上げます。

三条・燕・加茂地区 燕中等教育学校

PTA会長 WATANABE DAIZO

十一月二十一日（金）、燕三条ワシントンホテルにて研修会が開催され、七校二十五名が参加しました。

はじめに、県高P連理事で三条東高校PTA会長の銀山良雄様より、今年度大会の報告と次年度大会の概要について説明をいただきました。

続いて、県教育庁生徒指導課副参事の笠原崇様より、「いじめの現状と課題」と題してご講話をいただきました。いじめの定義や学校での対応、SNS上のトラブル、思春期の子どもの関わり方について具体例を交え分かりやすくお話しいただき、理解を深めることができました。

柏崎地区 柏崎工業高校

PTA会長 山本 浩宣



十一月十三日（木）、柏崎市立図書館にて、柏崎地区高等学校PTA研修会を開催いたしました。はじめに、地区高P連会長の挨拶、県高P連の活動概要の説明後、県教育庁生徒指導

た。

各校の活動報告の後、教育講演会では燕商工会議所の高野雅哉様より、「ものづくりから人づくりを見据える」と題してご講演いただきました。燕市の産業を支える職人の挑戦の歴史や、「磨き屋シンジケート」設立の背景、地域ブランドづくりの取り組みについて伺い、地場産業の未来を考える貴重な機会となりました。



研修会後の教育懇談会では各校の親睦を深め、半日間の全日程を無事終えることができました。開催にご協力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

課はじめ対策室長の真貝康広様より、いじめ等の防止及び自殺防止について、ご講話いただきました。防止にあたっては、学校と保護者の連携が大事であると改めて認識した次第です。

また、実践発表として、私から柏崎工業高等学校PTA活動の取り組みを報告させていただきました。

続いて、ハローワーク柏崎の田中章子様より「就職活動の現状と近年の動向」と題し、地元柏崎市の高校生における就職活動の現状について説明いただきました。就活に挑むうえでの大事な視点は何か、親として日ごろから子どもとどう向き合うべきか、学び、考える時間となりました。

多岐にわたる内容の有意義な研修会を開催できましたことに、深く感謝申し上げます。

高田・直江津地区 上越高校

PTA会長 小林 桂

十一月二十一日(金)、ホテルハイマートにて、高田地区・直江津地区研修会を開催しました。当日は、四十九名の方々からご参加いただきました。



はじめに、県高P連永井副会長様から全国大会の報告をいただきました。続いて研究協議として「上越高校のPTA活動」について上越高校PTA副会長、松苗が報告させていただきました。その後、新潟県教育庁生徒

指導課はじめ対策室、副参事指導主事の長津様より、「はじめの現状と課題」について、はじめ問題の難しさや課題を説明していただきました。

講演は、惜越ながら、私が講師として演題「真の健康とは」を講演させていただきました。仕事として「カイロプラクティック」に携わっており、日々多くの患者様の骨格矯正と姿勢検査、そして慢性的な症状や自立神経の不調などを解消するお手伝いをしております。その中で培った知識の中で、「ご参加されているご自身やお子様、ご家族の姿勢」について考えていただき、健康で生きていくために必要な生活習慣について、お話をさせて頂きました。各校のPTA会員、役員、教職員の皆様のご支援により、充実した研修会となり、心から感謝申し上げます。

佐渡地区 佐渡高校

PTA会長 島倉 学

佐渡地区高等学校・中等教育学校研修会

は十月三十日(木)、ホテル八幡館にて開催されました。はじめに県高P連理事川上豪様から今年度活動計画及び報告をいただきました。続いて県教育庁生徒指導課はじめ対策室副参事指導主事長津綾子様からいじめ等の防止及び自殺防止についてのご講話をいただきました。家庭と教育現場において私たちが子どもたちの小さな変化に気付き一人ひとりに真剣に向き合う姿勢が不可欠だと改めて認識することができました。

研究協議では佐渡市教育委員会社会教育課教育指導主事坂井一美様から佐渡市



の現状と課題そしてその対策として生徒が中心となって行われている「対話の場」の取組が挙げられました。これらは成果をあげており、今後も継続されることを強く望みました。

後半の部では、新潟食糧農業大学教授の比良松道一様からご講演をいただきました。「だから自炊なんだ」と題した「食」の話をまさにPTA活動の原点である家庭の在り方を再認識させてくれました。

貴重なご講演により誠に有意義な会となりました。関係の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

令和8年度の開催予定

県高P連総会・安全互助会総会

日時 令和八年六月五日(金)

十二時四十分～十七時

会場 ホテルイタリヤ軒(新潟市)

例年どおりの日程と内容で実施する予定です。提案発表校は、次の四校です。

第一発表 新発田商業高校

第二発表 明鏡高校

第三発表 塩沢商工高校

第四発表 新井高校

北信越地区高P連研究大会

期日 令和八年七月九日(木)～

十日(金)

会場 石川県立音楽堂コンサートホール

(石川県金沢市昭和町二一)

教育懇談会 ANAクラウンプラザホテル金沢

大会テーマ 全国大会に準ずる

令和六年能登半島地震及び奥能登豪雨により、誰でも当たり前ではない状況を経験した学校教育や家庭教育を見つめ直し、PTAの存在意義を改めて考える研究大会が計画されています。

各県発表は、県高P連総会で発表いただく新発田商業高校が壇上発表、他の三校は誌上発表となっています。

各単Pからの申込みは五月上旬の予定です。なお、申込時に宿泊の斡旋は行われませんので、県Pが企画する宿泊付きバスプランをご利用いただくか、各校で宿泊先を確保していただきますようお願いいたします。

全国高P連大会

期日 令和八年八月二十日(木)～

二十一日(金)

全体会場

別府国際コンベンションセンター

(大分県別府市山の手町十二一) 分科会会場

編集後記

編集後記に何を書こうか悩んでいたが、子供が「AIに聞いてみたら?」と。凄いですね。自分で考えなさいと叱る事なく、作成のコツを優しく教えてくれました。生成AIの登場で情報収集や要約など簡単にできる時代になりましたが、AIが導くことの出来ない声を拾い繋げていくのも、PTA活動の醍醐味かなと思います。

(調査広報委員)

新潟西P会長 三岡

立命館アジア太平洋大学、iic@iic 総合文化センターなど
大会テーマ
「湯」ころ 真「ころ 親「ころ」
「温かい親の真心で、家庭や学校、地域が協力して子どもたちの輝く未来を切り開くべく、健全な成長を支援し、新たな取組や課題解決策について語り合いたいという思いでテーマが設定されました。」

参加申込み現地参加とリモート参加は六月上旬の予定です。県Pが企画する参加プランもご案内いたしますので多数のご参加をお待ちしています。

【調査広報委員会委員】

◎新潟工業高校P会長

中村 未知

◎新潟南高校P会長

堀川 裕司

◎新潟西高校P会長

馬場 匠

◎新潟南高校P会長

三岡 幸子

◎新潟北高校P会長

市野 正廣

◎新潟商業高校P会長

星 達哉

◎新潟南高校P会長

小畑 智嗣

◎新潟中等教育学校P会長

灰野 仁

◎新潟向陽高校P会長

丸山 綾子

◎委員長

事務局

(事務局所在地)

新潟向陽高等学校

新潟市江南区電田向陽四・三・一

TEL〇二五(三八二)三三二一

FAX〇二五(三八二)一八三一